

■井上有一 書家。平凡な教師生活を全うしながら、前衛書道の先頭を走り続けた。

いのうえゆういち

民本主義・1916＝ 市村座全盛の東京府東京市下谷区二長町で、古道具屋井上栄治の長男に生まれる。母トメ。姉三人。

原敬首相暗殺1921＝ 5歳：

水平社結成・1922＝ 6歳：御徒町尋常小学校に入学。

関東大震災・1923＝ 7歳：順調だった家業が関東大震災で打撃を受けるも、父の才覚で立ち直る。

治安維持法・1925＝ 9歳：

共産党事件・1928＝12歳：優秀な成績で卒業。学校勤めの姉の学費負担を受け、府立第一中学校に入学。

途中、結核により一年休学。

満州事変・1931＝15歳：

国際連盟脱退1933＝17歳：安定した職を得ようと、四年修了で、東京府立青山師範学校に入学。

帝人疑獄事件1934＝18歳：

芥川直木賞始1935＝19歳：卒業。東京市本所区横川尋常小学校訓導となり、以後、定年退職するまで、勤勉に小学校教師を勤め続ける。夜、美術研究所へ通い始める。

日中戦争始・1937＝21歳：

この間、_校長の長谷川駒吉から書の才能を発見され、勧められるも芸術とは思わずにいたところ、

大政翼賛会・1940＝24歳：スランプに陥り、美術研究所通いを止める。

日米開戦・1941＝25歳：長谷川の言葉を思い出し、_書に関心をもち始め、高師卒業同等資格を得るべく文検を目標に勉学するも、

.....1942＝26歳：_文検に失敗すると、生涯を書に賭けることを決意、上田桑鳩の書を観て確認の上、師事し、臨書に励む。

創価学会検挙1943＝27歳：_許可なく突如「雁塔聖教序」の全文を臨書して、桑鳩に見せ、早くも認められる。

年金+総武装 1944＝28歳：

敗戦・.....1945＝29歳：

生徒らと寄書き「正気歌」制作。東京へ引き揚げ、家が空襲で壊れていたため、横川国民学校に毎日宿直するうち、東京大空襲となり、被災し、九死に一生。学童を連れて、岩手県稗貫郡志戸平温泉に再疎開。敗戦後、東京に戻り、両親と目の親戚に寄寓。東京都本所小梅国民学校訓導となる。失恋し頭を丸める。

新憲法公布・1946＝30歳：

新憲法施行・1947＝31歳：

極東裁判判決・1948＝32歳：

三大事件・.....1949＝33歳：

両親と茅ヶ崎町の縁戚の一部屋に都落ちし、神奈川県高座郡茅ヶ崎町第一国民学校訓導となる。この年、書道美術院を脱退した桑鳩らによる第一回日本書道芸術院展が開かれ、桑鳩門下「書之美」創刊に触発され、平井喜久江と結婚後、_毎月桑鳩宅を訪れ、臨書を見てもらう。茅ヶ崎市東海岸の戸建て借家へ転居。_父が死去。父肖像を絹本に描き、毎晩夜中まで仏壇作りし、「自我偈」を書き、自作仏壇に貼る。師桑鳩より指示され、書道芸術院展出品をつくって、

朝鮮戦争始・1950＝34歳：

独立回復・.....1951＝35歳：

茅ヶ崎市立第一中学校教諭となる。*桑鳩に提出、その際、仏壇からはがして持っていった「自我偈」を褒められ開眼。出品すると大反響デビュー。宮沢清六に願い宮沢賢治遺布本「國謬妙法蓮華経」を贈られる。花子誕生。_「書之美」α部に以後2年毎月出品。書道芸術院展に出品し、森田子龍・長谷川三郎と会い、その後、長谷川を頻繁に訪ねる。毎日書道展で三位となり、書壇の封建性と腐敗を痛感、森田らと話し合い、

メラー事件・ 1952＝36歳：

テレビ放送始・1953＝37歳：

自衛隊発足・1954＝38歳：

55年体制始・1955＝39歳：

京都龍安寺で黒人会結成。長谷川三郎・上田桑鳩を訪問して了承を得る。以後4年半(墨人)編集担当。第一回ゲンビ展出品。徹誕生。この年、子龍と絶縁した長谷川が渡米し、活動始める。_ニューヨーク近代美術館「現代日本の書道展」に出品。

国連加盟・.....1956＝40歳：

なべ底不況・1957＝41歳：

{週刊朝日}特集「前衛書道」に取上げられる。茅ヶ崎市菱沼海岸に転居し、制作再開。紙墨文字へ復帰。長谷川が癌で客死。_「第四回サンパウロ・ビエンナーレ展」に出品の「愚徹」がハーバート・リード「近代絵画史」に掲載される。

インスタランマン・1958＝42歳：

美智子妃・.....1959＝43歳：

安保闘争・.....1960＝44歳：

_「ブリュッセル万博記念近代美術の五十年展」出品。_西独での「第二回ドクメンタ展」出品。_中南米巡回「日本絵画展」・西独「日本の書道展」出品。「骨」が東京国立近代美術館に収蔵される。この年から三年間の冬に一晩凍らせた墨で書く。

タイタイ病始・1961＝45歳：

結婚直後から妻が介護してきた寝たきりの母が死去。_ドイツ巡回「日本書道展」・太平洋地域巡回「日本美術展」・「第六回サンパウロ・ビエンナーレ展」・「カーネギー国際美術展」出品。

全国総合計画1962＝46歳：

TV宇宙中継始1963＝47歳：

大学紛争始・1965＝49歳：

いざなぎ景気1966＝50歳：

美濃部都知事1967＝51歳：

全共闘・.....1969＝53歳：

大阪万博・.....1970＝54歳：

トクショク・.....1971＝55歳：

_米国巡回「現代日本の墨画展」出品。ドイツ「現代日本の書展」に出品し、個展も開催。_ドイツとオランダでの「書法と形象展」に出品。*ドイツで2箇所で開催。この頃にはポップアートが隆盛となり、以降、書の出展依頼が激減。アメリカ巡回「第一回日本芸術祭」出品。寒川町立寒川中学校教頭となると、片思いの不倫の恋に陥る。{第一回日本現代書展}出品。以後、八回まで毎年出品。{現代世界美術展}出品。

日中国交回復1972＝56歳：

石油ショック1973＝57歳：

角栄金脈辞任1974＝58歳：

ケラップール事件1975＝59歳：

田中角栄逮捕1976＝60歳：

JALハイジャック・1977＝61歳：

成田衝突・.....1978＝62歳：

革新大敗北・1979＝63歳：

貿易摩擦始・1980＝64歳：

.....1981＝65歳：

中曽根内閣・1982＝66歳：

デイス・ユラント・1983＝67歳：

.....1984＝68歳：

ジャンボ機墜落1985＝69歳：

東京で個展。自宅前にマンションが建つため土地を売り、海老名市内の農家を借りる。{戦後美術の展開展}出品。{第八回日本現代書展}出品。*日々絶筆を覚悟して原点回帰、以後、「貧」をはじめ傑作を生み続ける。寒川町の新築の家へ転居。定年退職。西独巡回「日本の書展」出品。_作品集「井上有一の書'49〜'77」刊行され記念展。NHK「ニュースセンター9時」に出演。_食道静脈瘤治療のため、入院。{墨人会}会員辞退。シカゴ「ジャパン・トゥデイ展」出品。個展。_作品集「井上有一の書'49〜'79」刊。国立国際美術館に「愚徹」収蔵。個展。作品の大整理始める。作品集「俎」刊。個展。{井上有一展〜一九五五年そして今}。作品集「鷹」刊。翌年に向け臨書。没後有名になる「遺偈」を書く。_精魂込めて「顔真卿家廟碑」の全臨を終えると、過労により入院。鉛筆・コンテ等を用いて書き始める。NHK教育テレビ「こころの時代〜愚徹を書く」。{言葉書展}に続き、*{未来のアダム展}を開催するも、黄疸を発して入院し、肝不全により没した。